

科目名	社会調査データ解析演習	code number : BIO 363	選択	1 単位
-----	-------------	--------------------------	----	------

科目責任者	宮田 敏 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	前期(前半)	曜日・時限	火曜 5時限	授業方法	演習

1. 授業の概要

社会調査データの解析に必要な最小限の内容について、実際の解析例に基づきながら分析していく過程として、調査項目の策定から連関分析、構造分析、信頼性・妥当性の評価を概観し、実際にSASを用いて分析する手順について演習を行う。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1.社会調査データの解析に必要な解析における応用的能力を修得する。

【行動目標(SBO)】

1.実際のデータを用いて分析していく過程での様々な問題点を把握することができる。
2.主として調査項目の策定過程での分析、データ獲得後の情報を要約し、そこから新しい知見を導き出すための分析を、実際にSASを用いて分析することができる。

3. 成績評価の方法および基準

(1) 講義・演習の課題・レポート(70点)
(2) 講義での積極的な参加や発言 (30点)
注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・適宜資料やデータを配布する。

5. 参考書

・調査の実際 不完全なデータから何を読みとるか 林 文・山岡和枝 著(朝倉書店)
・社会調査事典 社会調査協会編 丸善出版
・国際比較データの解析 意識調査の実践と活用 吉野諒三・林 文・山岡和枝 著(朝倉書店)

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

・社会調査法および基礎生物統計学、応用生物統計学を履修済みあるいは同等の能力をもつことを前提とする。
・事前資料の配布があった場合には事前に内容を読んでおくこと。グループ討論の場で発表すること。
・SASを用いたデータ解析を行うので、その準備をしておくこと。
・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

・課題やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを適宜行う。
・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

社会調査データ解析演習

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	4/14(火)	5	山岡 和枝 教授(客)	日本のデータ: 社会調査における調査票と質問項目の確定過程における分析
2	4/21(火)	5	山岡 和枝 教授(客)	日本のデータ: 調査票の構造分析: 主成分分析、因子分析、数量化3類
3	4/28(火)	5	山岡 和枝 教授(客)	日本のデータ: 関連性の分析
4	5/12(火)	5	山岡 和枝 教授(客)	日本のデータ: 健康意識と関連要因の分析
5	5/19(火)	5	山岡 和枝 教授(客)	日本のデータ: 欠測値の取り扱いと感度分析
6	5/26(火)	5	山岡 和枝 教授(客)	国際比較調査データの分析: 国別質問票の構造分析
7	6/2(火)	5	堀内 清華 講師(非)	分析結果のまとめ方
8	6/9(火)	5	山岡 和枝 教授(客)	国際比較調査データの分析: 階層構造を取り入れた分析